

■長岡から佐渡へ 巣立ちの秋

毎年秋になると、長岡市トキ分散飼育センターで生まれた幼鳥は佐渡トキ保護センターへ移送されます。移送前日の10月22日、今年産まれた2羽の幼鳥の健康状態を調べました。



体格は成鳥と同じ位にまで大きくなりましたが、顔の色は成鳥ほど赤くはなく、オレンジに近い色であどけない表情です。初めての診察に心臓がバクバクと大きく動いていました。



時折嫌がる仕草を見せましたが、体重・くちばしの長さの測定、鳥インフルエンザの検査などが無事に行われました。

そして採血。トキの性別は外見から見分けることが難しく、血液から染色体を調べ特定します。今年の幼鳥はオスとメスどちらでしょうか？血液も佐渡トキ保護センターへ送り調べてもらいます。



最後に個体識別のための番号が記された足環が装着されました。

平成最後の日に誕生した幼鳥は「742番」。(写真右) 体重は2010グラム・くちばしの長さは17.8cm。大きめの体格なのでオスでしょうか。



そして令和生まれの幼鳥は「761番」。(写真左) 逆子だったため飼育員が少しずつ殻を取り産まれてきた幼鳥です。両親が産卵後にけんかをしたため、里親に育てられました。

体重は1680グラム・くちばしの長さは15.2cm。こちらはメスでしょうか。優しい顔立ちです。

長岡市からの移送は平成25年から今年で9回目。佐渡トキ保護センターへ送られた幼鳥はこの2羽を含めると37羽になりました。



2羽は10月23日に出発。佐渡での活躍、また自然に放鳥される日を楽しみにしています。

■羽の色 美しい季節に

トキは換羽が終わり外側の白色と内側のトキ色がとても美しい季節になりました。

秋の日差しに照らされるとより一層綺麗です。ぜひ「トキみ〜て」でその姿をご覧ください。

